

富山海区漁業調整委員会議事録

1 開催の日時及び場所

日時 令和3年7月21日（水）午後1時30分から午後2時40分
場所 森林水産会館33号室

2 出席委員

森本太郎、荻野洋一、高松賢二郎、濱田清人、坂田博美、鷺北英司、
上野佳弘、網谷繁彦、三國嘉彦、河合雅司、島崎慎一、水島洋、
塩谷俊之、大浦清和
（欠席委員：中村好成）

3 議長

議長：森本太郎

4 委員会の成立

定員の過半数の委員が出席していることから、漁業法第145条第1項の
規定に基づき、当委員会は成立

5 議事録署名委員の指名

水島洋、荻野洋一

6 県職員

矢野課長、北川漁政係長、飯野主任、古川技師

7 事務局職員

渡辺事務局長

8 付議事項（議題）

（1）くろまぐろの資源管理について（報告）

県から資料1に基づき、第7管理期間における現在までの本県の漁獲実績、WCPFC北小委員会での提案状況、広域漁業調整委員会が6月1日に発出した、遊漁による小型魚の採捕禁止及び大型魚の水産庁への漁獲報告義務を定めた委員会指示について説明が行われた。

委員からの質問等はなく、一同了解した。

（2）知事許可漁業の許可方針の改正について（報告）

資料2に基づき、県より、漁業法の改正に関連し、旧「〇〇漁業の許可方針」を廃止し、これまで漁業調整規則により公表していた「制限措置」と「許可の条件」を統合して新たな「〇〇漁業の許可方針」として公表することで知事許可漁業の許可制度の透明化を図ることとし、その素案（資料中）を作

成中であること、また、その許可方針（案）を精査して次回の委員会で諮問したい旨の説明があった。

委員からの質問等はなく、一同了解した。

(3) 令和3年度全国海区漁業調整委員会連合会通常総会の概要について
(報告)

事務局より、資料3に基づき、書面により開催された令和3年度の連合会通常総会の結果について報告された。

全ての議案について可決承認されたこと、また、令和3年度の要望事項の概要について説明があった。

高松委員から、要望書の「海洋性レジャーとの調整等」のなかで、新しい用語として「スピアフィッシング」という言葉があるが、どのようなものかという質問があり、事務局から、スポーツフィッシングの一種であり、素潜りで銚などを使って魚類等を採捕するものである旨説明があった。

(4) 北陸4県5海区漁業調整委員会会長会議への提案議題について(協議)

事務局から、資料4に基づき、全国海区漁業調整委員会連合会が整理する要望事項を取りまとめる最初の段階として、近隣の4県5海区が一体となって要望事項を取りまとめるものであり、富山海区として提出すべき要望内容について「クロマグロの資源管理について」案の提示があった。

・網谷会長代理から、くろまぐろ資源が増加傾向にあると実感しており、遊漁者による相当数の捕獲実態があるのも承知している。漁業者に漁獲制限が課せられていることを考えれば、遊漁は全面禁漁とすることが望まれるが、自身は7月30日開催の広域海区漁業調整委員会に出席することとなっており、その際に、富山海区としての意見を述べたいと思うが、どのように整理すればよろしいか委員の意見を伺いたいと、発言があった。

高松委員から、広域海区漁業調整委員会でどのような指示が発出されるかは分からないが、富山海区としては、4県5海区会長会議へ提案する要望案にあるように、遊漁によるクロマグロの採捕禁止を含めた全国的な規制の導入を主張すべきと考える、と意見があった。

網谷会長代理から、これまで富山県の遊漁者はクロマグロを釣っていなかったが、マグロ資源が増えきていることで、実際に釣れている情報がインターネット等ですぐに伝わり、マグロをターゲットにした遊漁が多くなってきている。富山県としても何らかの規制をして対処すべきと考える、と意見があった。

森本会長が、富山海区からの広域海区漁業調整委員会への意見としては、「くろまぐろの採捕禁止を含めた全国的な規制を要望する」ということで、集約し、一同賛同した。

・高松委員から、4県5海区での要望事項の取りまとめ方として、昨年度は4

つの要望事項が共同でブロック会議に提出されていたが、本県のクロマガロの要望は単独提出されるのか、という質問があり、事務局から、それぞれの海区から同様に要望が上がって来るので、それを4県5海区会長会議のなかで共通認識となるように調整し、昨年までの要望と同じように概ね4つの項目で共同提案としてまとめられることになる、と回答があった。

森本会長から、4県5海区以外の日本海ブロック所属各海区は、直接要望を提出している状況にあり、過去には4県5海区という取りまとめ方の必要性について議論したこともあったが、現状の形で変わらずに進められている、と補足説明があった。

・4県5海区会長会議への要望事項として、事務局案のとおり「クロマガロの資源管理について」提出することで、一同了解した。

(5) 次回委員会

次回の委員会は、令和3年9月30日(木)13:30より開催することに決定された。

以上のとおり、相違ないことを証するため署名する。

令和3年7月21日

議長

署名委員

署名委員